

昭和48年7月1日 (No.192)



7月1日 市民プール・オープン

<青少年プール>

使用料金

- 小学校児童(4年生以上) 1回20円
- 中学生 " 30円
- 高校生・大学生 " 50円
- 一般 " 100円

勤労青少年(ホームから利用証の交付を受けた方) 20円
身体障害者 " 20円

水泳時間

- 第1回 10時~12時
 - 第2回 13時30分~15時30分
 - 第3回 17時30分~19時30分
- ※第3回は高校生以下の方は使用できません。

<子どもプール>

使用料金……無料

こどもの水死事故を防止しましょう

子どもは水の恐ろしさを知りません。県内で発生した昨年1年間の水による死者は78人で、うち幼児の水死事故は26人となっています。また、大館では3人の幼児が水で死亡しています。



これから8月いっぱい、水死事故が増えますので、子どもさんにつぎのことを守らせましょう。

- ◆水泳ぎは決められたところで。
- ◆川や池にかけられた注意は必ず守る
- ◆水泳ぎに行くときは行き先をつける。
- ◆ひとりで水泳ぎに行かない。
- ◆泳ぎに自信のない人は、必ず浮き袋・浮き輪などの救命具を持っていくこと
- ◆大館から悲しい水死事故をださないように、子どもたちみんなで気をつけましょう。

(大館警察署) 大館市防犯協会

水泳時間

- 第1回 10時~12時
 - 第2回 13時30分~15時30分
- ※小学校3年生まで利用できます。

休場日……毎週水曜日

<峠の家プール>

使用料金……無料

水泳時間

- 午前10時~午後4時
- 別館(休憩所料金)
- 大人 100円
- 子ども 50円
- 収容人員 200人

水難救助の講習会

日本赤十字社秋田県支部では、水難救助要員を養成するため、つぎの日程で講習会を開催します。

記

- とき 7月20日~23日
- ところ 武道館(開・閉講式) 勤労青少年プール(実技)
- 資格 水泳のできる方、男女青年問わず。
- 講師 日赤秋田県支部から数名派遣
- 携行名 筆記用具、水泳着、バスタオル、サンダル、トレパン、昼食
- テキスト代150円~200円
- 申込先 福祉事務所、福祉保へ

<肢体不自由者>

巡回相談所を開設

肢体不自由者の巡回相談所をつぎのとおり開設します。

記

- とき 7月12日(木)
- ところ 大館市民体育館
- 内容と時間
 - 補装具の修理、再交付、施設入所生活、医療、職業などの相談を受ける方。(10時~16時まで)
 - 新しく手帳の交付を受けた方、あるいは補装具の交付を受けた方、または更生医療を受けたいなど、医師の指導と診断を受けた方。(13時~15時まで)

ともに会員相互の親睦、団結を強化し新たな希望をもって社会復帰への道を開拓するために行なわれます。

記

- とき 7月8日(日)
- ところ 市民体育館
- じかん 午前9時~午後3時

身体障害者福祉大会

第1回大館市身体障害者福祉大会が13地区身障協会の代表者500名の参加で行なわれます。この大会は、社会更正意欲の向上と積極的な性格を以て協調精神を養うと

木材関連業者の

皆さんへ

秋田県内の木材・木製品製造および家具・装備品製造の事業を営んでいる方は、この7月1日から被雇用者に対してつぎの金額(最低賃金)以上の賃金を支払うことが義務づけられます。これに違反しますと罰せられますのでご注意ください。

◎一般労働者の場合

1日……1,150円(時間給による場合は1時間143円75銭)

◎軽作業および見習労働者の場合

1日……1,000円(時間給による場合は1時間125円)

なお、試みの使用期間中の労働者などの場合は、この最低賃金の適用から除外されます。

◎最低賃金の計算方法

- (1)月給の場合
{(基本給+諸手当)-(精皆勤手当+通勤手当)} / 1年間における1月平均所定労働日数
 - (2)日給および時間給の場合
{(月額諸手当)+(精皆勤手当+通勤手当)} / 1年間における1月平均所定労働日数(時間数)+日額(時間額)
- ※くわしいことは、大館労働基準監督署 電話2-4033番へお問い合わせください。

保健婦の窓

—こどものおやつ—

◎おやつは食事と同じ

子どもの食事については神経質なお母さんも、おやつには無頓着といった場合が多いようです。子どもも、おとなも、3回の食事だけで1日の必要量を全部とるのは難しいので、不足分を「おやつ」で補う必要があります。

◎おやつでバランスを

おやつは人生の添え物ではなく、食事の変形であり、3回の食事で足りない栄養分の補足です。

◆おやつの個人差

「適当なおやつ」の質と量は、子どもによって、またその日によって当然かわります。子どもにあわせて与えましょう

◎甘いおやつはいけない

甘さにつられて食べすぎてしまい、かんじんの食事がおろそかになり、必要な蛋白質などの栄養分が十分にとれなくなり

ます。「甘いもの好き」に育てるのは子どもの将来に望ましくありません。

消費者コーナー

<伝染病食中毒の原因>

- 腐敗したもの、未熟なもの。
- 有毒・有害な物質が含まれ、または付着しているもの。
- 病原微生物により汚染されているもの、そのおそれのあるもの。
- 不潔、異物の混入、添加などによって健康をそこなうおそれのあるもの。

住民サービスに勤める東北電力

サービス高揚旬間が6月4日から13日まで、東北電力全営業所で実施され、大館営業所管内でも、28項目の行事に延人員286人が参加して行なわれました。

これらの行事の主なものあげると、防犯灯8基、公園ベンチ4つを市に寄贈したのをはじめ、釈迦内地区の国道で、所員20名動員して交通事故防止の呼びかけ、ひとりぐらしの老人、61才から86才までの20人の自宅で配線診断と簡易修理およびバスタオルをプレゼント長木川清掃、交通信号灯の清掃大館駅へ公徳傘の寄贈などの行事が行なわれました。

街頭進出による交通事故防止活動では女子社員8名が「どちらまでですか」「お気をつけて」とことばをかけ、冷たいジュースのサービスと環境美化をはかるために、ヒナゲシ、ナデシコ、コスモスの種をくばりました。

長木川の清掃は、小雨のばらつく中、60人が参加し、夏にかけ

て子どもたちの遊び場となる大橋・東大橋間の清掃が行なわれました。

また、1人ぐらし老人家庭を訪問して配線やコンセントの修理、ヒューズの取替えを行ないましたが、たこ足配線が目立ち、以前にテレビを焼いたことのある家や、電気毛布のスイッチをつけっぱなしにしてたんでいて、火災の危険のある家もありました。

話し相手の少ない老人たちは、とつぜんの訪問に大変よろこび、むかし話や身のうえ話をする方もおり、東北電力の方から「いつまでもお元気でください」といわれ、ニコリ笑ってうなずいていました。

このごろ、1人ぐらしの老人の事故が多くなっていますので、隣り近所の方々が協力して、事故のないようにしたいものです。

なお、いたみの著しい配線については市と東北電力が協力して取り替えることになっています。



(写真) 交通安全を呼びかけ 冷たいジュースをサービスする社員

みちのくのあすを開く「東北新幹線」